



第95号・2021年7月



茂原市

発行：五十嵐 編集：松橋



「令和3年7月雑感」

茂原健走会 会長 五十嵐 敏



コロナ禍の中、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナの感染状況は変異株感染が広がり、全国的に高止まりの状況となっております。そのワクチン接種も開始されて

おりますが、コロナ禍の中での「東京オリンピック・パラリンピック」の開催の是非等、我が国を取り巻く状況は混沌としております。今日も「緊急事態宣言」(千葉県は「まん延防止等重点措置」)の延長について報道されております。現時点において今後の見通しは困難であり、本稿においては新型コロナに関する事項及び東京オリンピック・パラリンピックに関する記載は控えることと致しました。

さて、今年に入ってからスポーツ界で私が勝手に感動し、元気を頂いたものを紹介したいと思います。最初は「大阪なおみ」

選手が全豪オープンテニスで2回目の優勝を果たしたことです。これで全米オープン2回と合わせて、グランドスラム4回の優勝となりましたが、どちらもハードコートでの試合です。後はクレイコートの全仏オープン、芝コートの温ブルドンであり、ここでも優勝できれば、伝説的な選手になれると思います。

次は「びわこ毎日マラソン」で、2時間04分56秒の日本記録で優勝した「鈴木健吾(富士通)」選手です。この大会は日本で一番長い歴史を誇る伝統ある大会でしたが、来年からは「大阪マラソン」と統合となり、今回が最後の大会となりました。その大会で日本最高の記録で優勝できたことは、素晴らしいとしか言いようがありません。レース展開も理想のハイペースで進んで行きました。スタートから30km地点までの5kmのスプリットタイムは14分50秒前後を刻み、30km~35kmのみ15分02秒でした。圧巻だったのは35km~40kmのスプリットタイムが14分39秒と言うてつもないタイムでした。鈴木健吾選手

は神奈川大の3年生時、箱根駅伝の2区で区間賞を獲得した注目選手で、ユニバーシアードのハーフマラソンで銅メダルを獲得しておりましたが、何故か私の中では、記憶されている選手ではありませんでした。当時私の中では村山謙太、大迫傑、設楽悠太、服部勇馬選手等でした。箱根駅伝があるためか日本の男子もまだ選手層において、捨てたものではないと感じました。

次は「池江璃花子」選手の超人的な信じられない様な復活です。2018年のアジア選手権では6冠を果たし、東京オリンピックでも大きく期待されておりました。しかし、2019年にオーストラリアの合宿で体調を崩し白血病が発覚し、長期入院治療を余儀なくされました。「思ってたより、数十倍、数百倍、数千倍しんどいです。」とSNSで明かす程、辛く長い闘病生活でした。体重も18キロも減少し、お母さんには生きて行くことが辛いと漏らしたことがあったそうです。しかし、体調も回復し経過観察を受けながら、昨年8月に「東京都特別水泳大会」で594日ぶりに競技会に復帰し、「インカレ水泳2020」では50m自由形で4位に入賞しました。その後「ジャパンオープン2020」等において50m自由形で2位、50mバタフライで優勝、100mバタフライで3位に入賞し、着実に回復していることを結果で示すことが出来ました。そして4月に行われた「日本選手権水泳競技大会」では100m自由形で優勝し、女子400mリレーでも五輪代表の切符を掴んだほか、50mバタフライ、50m自由形で優勝するという4冠を達成することが出来、奇跡の復活を成し遂げることが出来ました。本当に感動しました。

最後は、男子ゴルフ米国ツアーメジャー大会の第85回マスターズ・トーナメントで「松山英樹」選手が日本人で初めて大会を制し、メジャー制覇という歴史的な快挙を達成したことです。松山英樹選手はアマチュア時代には、日本のアマチュアゴルフアーチとして初めてマスターズ・トーナメントの出場権を獲得し、2011年にはマスターズ・トーナメントのロー・アマチュアタイ

トルを獲得し、当時から将来を期待されておりました。日本ツアードで史上初のルーキーイヤー賞金王で、ルーキー最多タイの年間4勝を達成しておりました。また、2017年の「全米オープン」では2位に入っており、世界ゴルフランキングで1位になったこともあります、いつメジャー・タイトルを取ってもおかしくないと思われておりました。本当に良かったです。

突然、スポーツとは関係のない芸能界の話になりますが、今年の「日本アカデミー賞」の「最優秀男優賞」に「ミッドナイトスワン」の「草彅剛」さんが選ばれました。この映画はトランスジェンダーを扱った映画で、草彅剛さんが女装で好演した映画でした。受賞時に草彅さんは「続けていれば、いつかこのように良い事があるもんだなー」とコメントしました。ジャニーズ事務所を出てから、表舞台に出られなかつた期間がしばらく続いておりました。今はNHKの大河ドラマ「青天を衝け」で「徳川慶喜」役を存在感のある演技で魅了しております。最後のまとめとしては「継続は力なり」です。練習会、タイムレース等に積極的に参加し、無理をせず健康維持に努めましょう。

GW前練習会が終わって

篠原 昭義

4月24日（土）、25日（日）恒例のGW前の練習会が大変盛況のもと無事終了いたしました。ひとえに参加いただいた会員の皆様のご協力のおかげと思っております。今回初めて練習会の幹事を任され、最初はどのような内容にしたら皆様が喜んで参加していただけるか、私自身戸惑っていました。そんな時、五十嵐会長から、安嶋さんに相談してみたらとのアドバイスを頂き、会長と一緒に安嶋さんに相談してみたところ安嶋さんが快く練習会の内容を引き受けいただきました。

まず、初日の24日は睦沢町の史跡をジ

ヨギングで探索する内容で（約10km）、2日目は野球場を利用して、チームに分かれリレー形式で競う内容でした。私もこの案が大変気に入り、今年の練習会の内容にすることにいたしました。史跡探索の場所について、安嶋さんから提案があり事前に見学をすることにしました。安嶋さんと睦沢町在住の会員の岡田さんと私3人で史跡を訪問し場所の確認をいたしました。地元の岡田さんはさすがに地理に詳しく、史跡までの案内をしていただき助かりました。



当日は、総勢16名で睦沢運動公園を9時30分出発し最初の訪問先「八坂神社」を訪問しました。「波の伊八」の彫刻がある由緒ある神社で、年一度のお祭りは睦沢町全体で盛り上がるそうです。次の訪問先是「成就院」です。ここも「波の伊八」の彫刻で有名なお寺で、欄間に3枚の彫刻が飾られています。事前訪問したときに、本堂の中に飾られている3枚の彫刻を見せていただくようお願いし、了承をいただいておりましたが、当日は残念ながら法事が入ってしまい実物は見学することができませんでした。本堂の前にある写真で見ることができました。次は「歓喜寺」に訪問。天台宗の古刹、徳川家光以来歴代将軍から、寺領10石を寄進された由緒あるお寺。お寺のきつい階段を上っていくと本堂があり、その山をさらに上って勝見城址まで足を延ばしました。新緑に包まれた山間は、大変気持ちがよく景色も最高でジョギングの疲れを癒してくれました。「やすらぎの里」の入り口まで下りてきて、最後の

休憩をしたあと睦沢町総合運動場に向かって出発。10キロのコースを11時30分全員が戻り初日の練習会が無事終了いたしました。練習会としては初めての試みでしたが、参加していただいた方の感想をお聞きすると、大変好評でしたのでほっとしました。企画していただいた安嶋さんが当日参加できなかつたことが残念でした。

二日目の25日は、睦沢町運動公園の中にある野球場を借りて、一周200メートルのトラックを4チームに分かれてリレー競争を行いました。参加者17名を4班分けて200メートルを一周しバトンリレー。10時スタートし80分走り周回回数が一番多かったチームが優勝でスタート。チーム対抗なためみなさん全力をだして走っていただき、大変盛り上がるることができました。さすがに80分リレーは終盤疲れがでてきてしまい、当初80分でしたが、60分に急遽変更いたしました。頑張りすぎて事故が起きないよう配慮いたしました。優勝はシルバーのバトンチームでした。

今回のリレー競争では、地元の岡田さんが記録係を務めていただきました。ありがとうございました。また、写真係として1日目渡会さん、2日目塚原さんありがとうございました。そして、野球場に200mトラックを作っていただいた安嶋さんありがとうございました。



「やすらぎの里」遊歩道をトレイン
2日間事故もなく天気にも恵まれ、楽しい練習会が開催でき幹事としてほっとして

おります。来年もまた、充実した練習会を行いたいとも思っておりますので、会員の皆様からのご意見もお待ちしております。

これからも茂原健走会をみんなで盛り上げていきたいと思います、ぜひ皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

茂原市と周辺の地名について

安嶋 俊夫

茂原市は子供の頃から台風が来るたびに市内の河川が氾濫し、家屋が浸かっていた。

小学生の時、先生が茂原の地名は「藻の原」からきている。元々、湿原地帯だから水害に遭いやすい。藻原寺も藻の原が語源ですと教えてくれた。

河川の改修で氾濫の回数は減ってきたが近年の温暖化による豪雨には勝てない



藻原寺

市内には阿久川、豊田川、一宮川の三本が中の島で一本になる。当然、昔から湿地の多かった場所と推測できる。

長清水や八千代は、昔「下井戸」と呼んでいて茂原小学校から消防署の下に降りていくと、そこは田んぼしかなかった。一段低いところなので井戸を掘ると簡単に水が出たのかも知れません。

先人は暮らしや地形からあるいは災害の備えとしてそこに関係する地名をつけてきました。また歴史や言い伝えも刻み込まれ

ているので地域の歴史も知ることも出来ます。

近年では市町村の合併によっても地名が変わってます。

茂原市周辺の地名の由来はどうなんだろうか、少し調べてみました。

1. 長生郡

1897年、長生郡は長柄郡と上埴生郡（かみはぶぐん）が合併して長生郡となる

2. 長生村

八積、高根、驚地区の合併の時、一般公募で決まり、住民が末永く繁栄することを祈念したとある

3. 長柄町

古代から郡名として使用され、段丘上の細長い地形で長い原、それがつまつナガラとする説、一宮川が流れる語源のナガラとする説があります

4. 長南町

1955年、庁南町、西村、東村、豊栄村が合併した時、長柄町の南で長南町となる

5. 白子町

1955年、白潟町、関村、南白亀村が合併した時、白子神社に由来する



白子神社

白子神社は1126年、里人が海岸で潮を汲んでいると南方沖から白亀が漂着し、その甲羅に白蛇がいたので靈感を感じた里人が「神様ならお登りください」と柄杓を差し出すと柄を登ってきたの

で、これを神と崇め八斗村大夫野の社へ合祀したとされている

神社に行くと亀の甲羅に蛇が乗っています



南白亀（なばき）川の名前もそうだったのかと納得です

6. 睦沢町

1983年、土睦村、端沢村からとった合成地名

7. 本納

元は帆丘（ほのおか）と称していた。その由来は日本武尊（ヤマトタケルノミコト）が船で難破し西の丘陵にその船の帆柱を埋めしたこととする説、橘樹神社の境内の森の形が船の帆の形に似ているという説、そして日本武尊が弟橘媛（オトタチバナヒメ）の遺品を奉納して塚を築き祀ったことから「奉納」が転訛して本納となつた説があります



橘樹（たちばな）神社

8. 大網白里市

2013年、大網町と白里町が合併し市政施行

大網の地名は「おお（美弥）・あば（崖）・み（辺）」の転訛で崖沿いの地という意味になる

白里の地名は九十九里を表わす戯訓※で「白里（百から一をとった名）」による※（ぎくん；漢字の字形などを遊戯的に利用したもので例えば獅子（しし）を十六）

9. 土氣（旧山武郡土氣町（とけちょう）

大網からの長い峠をとて「峠→とけ」となつたという説もあるが、周辺は南関東ガス田と呼ばれる水溶性ガス田の範囲内であり、古来天然ガスが湧出する気配を示す土地は「土氣」と呼ばれこれが地名由来と考えられている

このように地名って面白いですね。

他にも弓渡、小轡、真名などの地名も、そうだったのかと面白いことがいっぱいありました。

紙面の都合でここまでにしておきますが皆さまのお住まいの地名も何かしら意味があります。

今やネットの時代、簡単に調べることが出来ますので皆さまもお時間ありましたらいかがでしょうか。

いちごトレイルラン 2020

(2020.12.27 富津市)

福井 正行

緊急事態宣言再発出直前の12月27日メンバー8人で恒例の「いちごトレイルラン」に出場しました。会場は標高270m

